

自大正十二年五月  
至大正十二年四月  
會計報告

收入、

越 高

會 費

雜誌代

廣告料

利 子

寄附金

印 稅

合計

支出

印 刷 費

編 纂 費

郵 便 費

集 金 費

事 務 費

雜 費

集 會 費

雜誌購入代

臨 時 費

三五一七、<sup>四</sup>六五七

二二三九、八五〇

二八〇、一七〇

二〇一、〇〇〇

一二九、八三〇

六、〇〇〇

二二八、〇〇〇

六五〇二、五〇七

一九四四、二八〇

五一四、九九〇

七七、二六〇

一二九、九二〇

七〇、八七〇

五一、一六〇

八三、三九〇

二二、五〇〇

八六〇、〇〇〇

合計  
差引越高

三七五四、一三七

二七四八、一三七

附 記

人形座の舞臺は、凡横三尺縦二尺、奥行は五寸位。それを見物人が見頃の目の高さに、拵へて、全體としては高さ五尺幅三尺五寸位の、ついたての中に舞臺面が窓の様に開けられてある。他の全部を黒色の布で、舞臺の處丈風色で縁どつてある。何處でも演じようとする任意の處へ持ち運び得るように出来てあつた、人形は背景と舞臺面の間から、せり上られるのである。